

令和4年度事業報告

項 目	内 容
電話・面接相談	<ul style="list-style-type: none"> ○ 電話相談 犯罪等の被害者及びその家族又は遺族（以下「犯罪被害者等」という。）からの相談を職員又は被害者支援ボランティアが専用電話（0120-43-0874）等で受理し対応した。 ○ 面接相談 面接相談を希望し又は電話相談の結果、面接相談が必要と認められる犯罪被害者等に対して、職員等がセンター面接相談室などで面接し対応した。 ○ 電話・面接相談の受理状況 受理総数 230件（相談実人数 64名） 相談手段～電話173件、面接40件、文書10件、メール7件 居住地域～東部163件、中部30件、西部25件、県外11件、不明1件 主な内容～傷害暴行、交通事故、DV、性犯罪、その他 <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <ul style="list-style-type: none"> ○ カウンセリング及び医療的措置の支援 メンタルケアを必要とする犯罪被害者等に臨床心理士等専門家を紹介した。 <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <ul style="list-style-type: none"> ○ 法的救済支援 法律専門家による相談が必要と認められる犯罪被害者等に対して、協力弁護士を紹介した。（2件）
直接的支援	<ul style="list-style-type: none"> ○ 役務の提供等 犯罪被害者等の精神的負担の軽減を目的として、その要望に応じて付添い、送迎等の支援を行った。 支援実施総数 44件（支援実人数7名） 警察付添5件、弁護士事務所付添6件、裁判所付添1件 病院付添4件、市役所等付添6件、自宅訪問2件、送迎20件 <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <ul style="list-style-type: none"> ○ 緊急避難場所の提供 3件 <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <ul style="list-style-type: none"> ○ 全国被害者支援ネットワーク被害者緊急支援金の支給 2件
犯罪被害者等給付金申請補助	<ul style="list-style-type: none"> ○ 犯罪被害者等給付金の申請補助 なし
自助グループに対する支援	<ul style="list-style-type: none"> ○ 場所提供等 犯罪被害者自助グループ「なごみの会」に対し、定例集会時の会場準備、資料・情報提供等の支援を行った。（5回） ○ 「いのちのパネル展」の支援 「なごみの会」が市役所、講演会場、警察施設等で開催する「いのちのパネル展」の設置準備等の支援を行った。（8回） ○ 講演会における支援

	<p>10/24 シンポジウム、警察署主催犯罪被害者支援ネットワーク会議等での講演（2回）</p>
<p>広報・啓発活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 講演会等の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・ 7月15日「被害者支援を考える講演会」を開催 とりぎん文化会館小ホール 約200名参加 犯罪被害者ご遺族（磯谷富美子氏）の講演とアーティスト（田村祐子氏）によるパフォーマンスを披露した。 ・ 11月22日「鳥取県被害者支援フォーラム」を開催 とりぎん文化会館小ホール 約200名参加 表彰式、犯罪被害者ご遺族（本郷由美子氏）の講演、鳥取県警察音楽隊による演奏を行い、当センターの被害者支援ソング「涙のち 晴れ」の演奏曲を初披露した。 ・ 2月8日「被害者支援を考える公開講座」を開催 倉吉未来中心セミナールーム3 約30名参加 NNVS認定コーディネーター（大分被害者支援センター藤澤由美子氏）を講師に、県下全市町村の犯罪被害者等支援条例制定への促進に向け、市町村担当者を含めた支援従事者を対象にした講演会を行った。 ・ 「命の大切さを学ぶ教室」を開催 4回4校実施（高校3校、中学校1校） 犯罪被害者ご遺族の講演を通じ中高校生等に対して命の大切さの意識高揚を図った。 ○ ホームページによる広報活動の推進 ホームページを随時更新し、講演会の案内等新着情報をタイムリーに掲示した。 ○ 機関紙「センターだより」の発行（2回） センターだより第27号（8月）、28号（2月）を発行し、関係機関、賛助会員等へ送付し、センターの事業活動を報告するとともに協力を呼び掛けた。 ○ 街頭広報の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 11月の犯罪被害者週間に併せてJR鳥取駅、鳥取・倉吉・日吉津村内のショッピングセンターにおいて、県、警察、センター役員、ボランティアが参加して、犯罪被害者支援への協力を呼び掛けた。（4回） ○ 被害者支援講演会等の実施 被害者支援に関する意識の高揚・啓発を推進するため、各関係機関等の研修等に出向き、講演活動を行った。（11回） ○ センター認知度アップを図ることを目的として「涙のち 晴れ」プロジェクトオリジナル映像を活用したテレビCMを放送した。（11月中18回） ○ 講演会、フォーラムの新聞広告を利用した広報とチラシ・ポスター、啓発グッズ（ウエットティッシュ）の作成配布。
<p>関係機関・団体等との連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県外研修会等への参加 「全国被害者支援ネットワーク」が主催する全国会議やフォーラム、中国四国ブロック会議・研修会に参加した。中国四国ブロック上半期の会議・研修会は当センターが開催県となり準備運営を行った。 ○ 県内の関係機関との連携強化

	<p>被害者支援に係わる警察及び行政機関の会議、研修会等へ出席し意見交換を行うとともに連携等について協議を行った。</p>																
被害者支援ボランティアの養成、研修	<ul style="list-style-type: none"> ○ 募集活動 「涙のち 晴れ」プロジェクトオリジナル映像を活用したテレビCMを放送した。(2月中18回)、新聞広告の掲載(2回)、チラシ(500枚)を作成しボランティアの募集活動を行った。 ○ 被害者支援ボランティアを3名採用した。 6名の応募者があり、昨年度の応募者1名を加えて採用時養成講座を5回に亘って実施し、最終的に3名を採用した。 ○ 継続研修でスキルアップを図った。 <ul style="list-style-type: none"> ・ センター主催研修 4回実施(延べ29名参加) ・ 全国被害者支援ネットワーク主催中国四国ブロック研修等への参加(延べ4名参加) 																
財政・体制強化の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ ファンドレイジング活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 全国犯罪被害者支援ネットワークの「ホンデリング・プロジェクト」に参加し、不要本の売却金を寄付していただく活動を実施した。 ・ 「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」に参加し、毎月11日にレシート投函を呼び掛けてレシート金額の1%を寄付していただく活動を実施した。 ・ 鳥取県共同募金会のつかいみちを選べる募金助成事業(1月～3月末)に参加し、募金活動を実施した。 ・ 「有限会社 SUNABACOMPANY」様と「有限会社 亀井堂」様のご協力により寄付型商品(犯罪被害者支援商品)の販売売上の一部を寄付していただく活動を実施した。 ・ 賛助会員の維持・拡大と寄付型自動販売機、募金箱の設置拡充に取り組んだ。 <table style="margin-left: 40px; border: none;"> <tr> <td>寄付型自動販売機</td> <td>63台</td> <td>(前年度</td> <td>63台)</td> </tr> <tr> <td>募金箱</td> <td>190か所</td> <td>(前年度</td> <td>192か所)</td> </tr> <tr> <td>寄付</td> <td>団体</td> <td>205団体</td> <td>(前年度 155団体)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>個人</td> <td>198名</td> <td>(前年度 341名)</td> </tr> </table> 	寄付型自動販売機	63台	(前年度	63台)	募金箱	190か所	(前年度	192か所)	寄付	団体	205団体	(前年度 155団体)		個人	198名	(前年度 341名)
寄付型自動販売機	63台	(前年度	63台)														
募金箱	190か所	(前年度	192か所)														
寄付	団体	205団体	(前年度 155団体)														
	個人	198名	(前年度 341名)														
組織の運営体制	<ul style="list-style-type: none"> ○ 正会員数：23名 団体 17団体(前年度 17団体) 個人 6名(前年度 6名) ○ 賛助会員数 団体 85団体(前年度 82団体) 個人 146名(前年度 169名) ○ 職員数 常勤職員：2名 非常勤職員：4名(事務局2名、西部相談所2名) ○ 支援活動員(ボランティア)登録数 33名 																